



株主のみなさまへ

第105期 近況報告

2005年4月1日～2005年9月30日



©2005 Gullane (Thomas) Limited

CONTENTS

- | | |
|---------------------|--------------------|
| ■ ごあいさつ …………… 1 | ■ 会社概況 …………… 8 |
| ■ 事業別概況(連結) …………… 2 | ■ 株式情報 …………… 9 |
| ■ 中間連結財務諸表 …………… 4 | ■ 株主の方へのお知らせ …… 10 |
| ■ 中間単独財務諸表 …………… 5 | |
| ■ ニュース & トピックス …… 6 | |



株主のみなさまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素は、当社事業に対し、格別のご支援を賜りまして誠にありがとうございます。
心から御礼申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に設備投資の増加傾向が見られたものの、原油高などの不安定要因による先行き不透明感が拭いきれず引き続き厳しい状況下に推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、レジャー・サービス部門において富士急ハイランドに、ホラーアトラクション「〜ドクロ・ナ・キモチ〜棺桶墓場」やトーマスランドに「ガタゴトだいぼうけん！」を導入するとともにペコちゃんがテーマの「Peko's clock cafe」をオープンするなど施設の増強を図りました。富士山南麓の遊園地「ぐりんぱ」では、雨天でも楽しめるおもちゃのテーマパーク「おもちゃファクトリー・キッズフジQ」の導入や「ぐりんぱ」の隣接地に大自然と親しめるキャンプ場「キャンピカ富士ぐりんぱ」をオープンさせるなど、独自性に溢れた施設・商品の導入を図り、増収に努めました。

また、運輸部門では高速バスにおいて、7月に「富士五湖・静岡東部～京都・大阪線」、「河口湖～横浜線」、「富士山・富士五湖～大宮・川越線」など6路線を新規開設し事業エリアの拡大と積極的な営業活動に努めました結果、当中間期の連結売上高は223億26百万円（前年同期比0.3%減）、経常利益は25億29百万円（同3.8%増）、中間純利益は13億78百万円（同22.7%増）となりました。

下期におきましても、当社グループを取り巻く事業環境は引き続き厳しい状況が続くものと思われ
ます。

このような状況の中、当社グループはバス事業において、10月に「松田・小田原～成田空港線」の運行を開始するなど積極的に事業領域の拡大を図っていくと同時に、既存事業の見直しを行い、より効率的な事業展開を図ってまいります。

また、レジャー・サービス部門においては、オリジナリティー溢れたイベントなどを実施し、誘客を図るなど、引き続き差別化戦略を徹底し、業績の向上に努めてまいります。

更に、11月に富士急グループ中期経営計画を策定しこれを強力に推進することによりROA（連結総資産経常利益率）の向上と連結売上高、連結利益の増大を図ってまいります。

今後とも当社及び富士急グループは、アメニティ（夢・喜び・快適・やすらぎ・感動）ビジネスを戦略事業領域とし、この強化・拡充を図る一方、スクラップ&ビルドを更にスピードアップすると同時に「クリエイティブ&ディファレント（差別化戦略）」を徹底し富士急グループ丸となって収益向上に努め、「富士急」ブランドの更なる価値の極大化を図るとともに引き続き株主重視の経営に努めてまいります。

更に、安全をすべてに優先し120%の安全の遂行と同時に最高のホスピタリティーの提供、コンプライアンスの重視、社会貢献活動の推進などを経営の基本姿勢として引き続き企業の社会的責任を果たしてまいります。

株主のみなさまには、今後ともなお一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年11月

代表取締役社長 堀内 光一郎

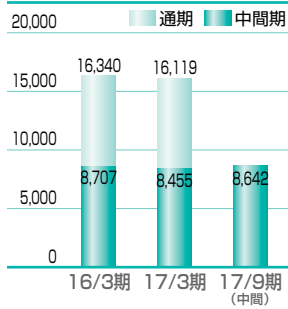
事業別概況 (連結)

運輸部門

主力のバス事業のうち乗合バス営業においては、継続して不採算路線の統廃合と効率的な運行に取り組むとともに、夏期には富士山へのシャトルバスや催事に応じた臨時バスの運行を積極的に行い増収に努めました。また、昨年10月から東京都区内で初めて乗合バス事業に参入した、港区でのコミュニティバス「ちいばす」は、新たな地域交通サービスとしての認知を高め、利用者も増加しました。

高速バス営業は、「富士五湖・静岡東部～京都・大阪線」、「河口湖～横浜線」、「富士山・富士五湖～大宮・川越線」など6路線を新たに開設し、営業基盤の拡充と増収に努めました。

売上高の推移 (単位: 百万円)



貸切バス営業においては、「富士急」ブランドによるトータルセールスの強化と効率的な車両運用に努めるとともに、愛知万博(愛・地球博)などの各種イベント輸送の受注に積極的に取り組みました。

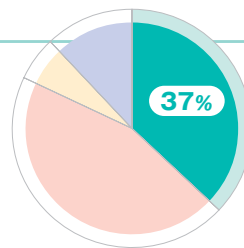
この結果、鉄道、ハイヤー・タクシー、船舶などの各事業の増収も寄与し、運輸業全体の売上高は86億42百万円(前年同期比2.2%増)、営業利益は主要コストである軽油費の高騰もありましたが8億33百万円(前年同期比3.1%増)となりました。



トーマスランド号
©2005 Gullane (Thomas) Limited



高速バス「富士山・富士五湖～大宮・川越線」



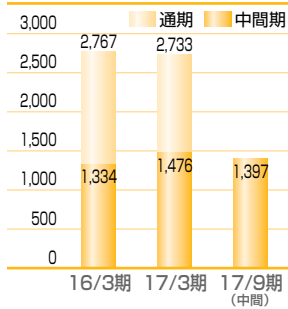
売上高構成比

不動産部門

不動産販売事業においては、山中湖畔別荘地においてハウスメーカーとタイアップした分譲販売に取り組むとともに、十里木高原別荘地においては「シルバニアファミリー」で人気の高い「赤い屋根の大きなお家」、「緑の丘のすてきなお家」をモデルとした建売別荘の分譲を開始しました。また、不動産賃貸業においては引き続き社有地の活用を推進しました。

この結果、不動産部門の売上高は13億97百万円(前年同期比5.4%減)、営業利益は4億3百万円(前年同期比26.2%増)となりました。

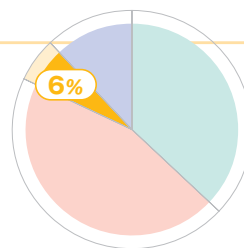
売上高の推移 (単位: 百万円)



山中湖畔別荘地



十里木高原別荘地



売上高構成比

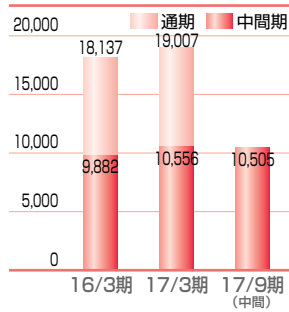
レジャー・サービス部門

主力の遊園地事業につきましては、富士急ハイランドにおいて、7月に、ホラーアトラクション「～ドクロ・ナ・キモチ～棺桶墓場」を導入するとともに、トーマスランドエリアに屋内型アトラクション「ガタゴトだいぼうけん!」を増設、さらには不二家とタイアップしたスイーツカフェ「Peko's clock cafe」をオープンするなど施設の増強を図りました。また、昨年湧出した「フジヤマ温泉」を活用した温水プールをオープンするとともに、時節に応じた各種企画催事をきめ細かく行い増収に努めました。

富士南麓の遊園地「Grinpa（ぐりんぱ）」では、7月に、子供達が触れて遊べるおもちゃのテーマパーク「おもちゃファクトリー・キッズフジQ」を新たにオープンしたほか、シルバニアファミリーゾーンの増強を図り好評を博しました。

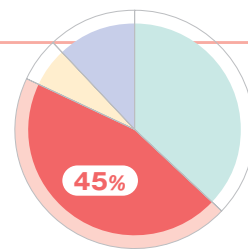
ホテル部門では、ホテルハイランドリゾートにおいて富士急ハイランドのオフィシャルホテルとしての地位を生かし、人気アトラクション「FUJIYAMA」など優先乗車が出来る特典プランを発売したほか、ホテルマウント富士ではエコツアーへの取り組みを開始するなど、需要の喚起に努めました。

売上高の推移 (単位:百万円)



その他のレジャー部門では、気軽に自然と親しめるキャンプ場「コテージ&キャンプ場PICA（ピカ）」において、富士吉田市の施設をリニューアルするとともに、7月には富士南麓の遊園地「Grinpa（ぐりんぱ）」に隣接して、ファミリーや仲間たちで自然を楽しめるキャンプ場「キャンピカ富士ぐりんぱ」をオープンしました。

この結果、レジャー・サービス業全体の売上高は105億5百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益は16億55百万円（前年同期比3.7%減）となりました。



売上高構成比



おもちゃファクトリー・キッズフジQ

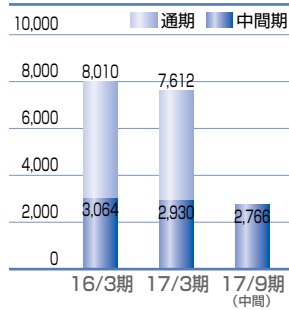


～ドクロ・ナ・キモチ～棺桶墓場

風車のお家～気球であそぼ～
©2005 EPOCH CO.,LTD.

その他部門

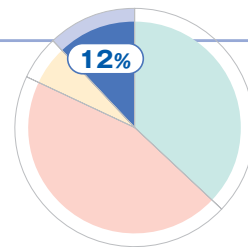
売上高の推移 (単位:百万円)



製造販売業においては、ミネラルウォーターの非常用保存水の販売が好調に推移しました。建設業では、土木・造園業は堅調に推移しておりますが、完成工事が前期に比べ下期へ集中しました。

この結果、売上高は27億66百万円（前年同期比5.6%減）、営業利益は75百万円（前年同期比15.7%増）となりました。

なお、8月に静岡県沼津市に、業務請負・人材派遣を主な事業とするグループ会社、「株式会社富士急人材サービス」を設立し営業を開始しました。

きかんしゃトーマスのミネラルウォーター
©2005 Gullane (Thomas) Limited

売上高構成比

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表 (要旨)

単位：百万円

| 科 目 | 当中間連結会計期間末 (平成17年9月30日現在) | 前中間連結会計期間末 (平成16年9月30日現在) | 前連結会計年度 (平成17年3月31日現在) |
|-----------------|------------------------------|------------------------------|---------------------------|
| (資産の部) | | | |
| 流動資産 | 28,013 | 26,881 | 26,734 |
| 現金及び預金 | 10,495 | 9,552 | 9,381 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,997 | 1,914 | 2,453 |
| たな卸資産 | 14,073 | 14,248 | 13,766 |
| その他 | 1,447 | 1,166 | 1,132 |
| 固定資産 | 57,734 | 58,123 | 57,233 |
| 有形固定資産 | 49,021 | 49,450 | 48,607 |
| 建物及び構築物 | 26,644 | 26,808 | 26,590 |
| 機械装置及び運搬具 | 7,308 | 7,990 | 7,546 |
| 土地 | 12,811 | 12,739 | 12,655 |
| 建設仮勘定 | 434 | 375 | 291 |
| その他 | 1,822 | 1,536 | 1,522 |
| 無形固定資産 | 2,963 | 2,916 | 2,944 |
| 投資その他の資産 | 5,749 | 5,756 | 5,681 |
| 投資有価証券 | 3,702 | 3,184 | 3,513 |
| その他 | 2,046 | 2,572 | 2,167 |
| 資産合計 | 85,747 | 85,005 | 83,967 |

| 科 目 | 当中間連結会計期間末 (平成17年9月30日現在) | 前中間連結会計期間末 (平成16年9月30日現在) | 前連結会計年度 (平成17年3月31日現在) |
|------------------------|------------------------------|------------------------------|---------------------------|
| (負債の部) | | | |
| 流動負債 | 23,272 | 24,357 | 21,900 |
| 支払手形及び買掛金 | 2,040 | 2,036 | 2,555 |
| 短期借入金 | 15,979 | 16,723 | 15,744 |
| 賞与引当金 | 511 | 560 | 544 |
| その他 | 4,741 | 5,035 | 3,056 |
| 固定負債 | 48,877 | 48,203 | 49,284 |
| 長期借入金 | 42,646 | 42,064 | 43,145 |
| 退職給付引当金 | 1,459 | 1,377 | 1,459 |
| その他 | 4,771 | 4,762 | 4,679 |
| 負債合計 | 72,149 | 72,561 | 71,184 |
| (少数株主持分) | | | |
| 少数株主持分 | 279 | 252 | 250 |
| (資本の部) | | | |
| 資本金 | 9,126 | 9,126 | 9,126 |
| 資本剰余金 | 3,332 | 3,323 | 3,332 |
| 利益剰余金 | 2,436 | 1,567 | 1,615 |
| その他有価証券評価差額金 | 568 | 315 | 473 |
| 自己株式 | △ 2,145 | △ 2,141 | △ 2,014 |
| 資本合計 | 13,318 | 12,191 | 12,532 |
| 負債、少数株主持分及び資本合計 | 85,747 | 85,005 | 83,967 |

中間連結損益計算書 (要旨)

単位：百万円

| 科 目 | 当中間連結会計期間 (平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで) | 前中間連結会計期間 (平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで) | 前連結会計年度 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで) |
|------------------------|--|--|--|
| 営業収益 | 22,326 | 22,395 | 43,250 |
| 営業費 | 19,377 | 19,486 | 39,296 |
| 営業利益 | 2,949 | 2,908 | 3,953 |
| 営業外収益 | 199 | 219 | 448 |
| 営業外費用 | 618 | 690 | 1,340 |
| 経常利益 | 2,529 | 2,437 | 3,062 |
| 特別利益 | 16 | 10 | 750 |
| 特別損失 | 190 | 424 | 1,735 |
| 税金等調整前中間(当期)純利益 | 2,356 | 2,023 | 2,076 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 909 | 801 | 895 |
| 法人税等調整額 | 37 | 79 | △ 25 |
| 少数株主利益 | 29 | 18 | 35 |
| 中間(当期)純利益 | 1,378 | 1,124 | 1,172 |

中間連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

単位：百万円

| 科 目 | 当中間連結会計期間 (平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで) | 前中間連結会計期間 (平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで) | 前連結会計年度 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで) |
|-------------------------|--|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 3,898 | 3,500 | 5,011 |
| 税金等調整前中間(当期)純利益 | 2,356 | 2,023 | 2,076 |
| 減価償却費 | 1,742 | 1,763 | 3,530 |
| その他損益等調整額 | 560 | 759 | 1,708 |
| 資産・負債の増減額 | 233 | 175 | △ 88 |
| 小計 | 4,892 | 4,721 | 7,227 |
| 利息の支払額等 | △ 994 | △ 1,220 | △ 2,215 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 1,877 | △ 180 | △ 2,076 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △ 2,082 | △ 1,510 | △ 3,829 |
| その他 | 204 | 1,330 | 1,752 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 909 | △ 8,708 | △ 8,496 |
| 社債・借入金の増減額 | △ 263 | △ 8,035 | △ 7,933 |
| その他 | △ 645 | △ 672 | △ 562 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 1,111 | △ 5,387 | △ 5,562 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 9,200 | 14,762 | 14,762 |
| 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高 | 10,311 | 9,375 | 9,200 |

中間単独財務諸表

中間単独貸借対照表 (要旨)

単位：百万円

| 科 目 | 第105期中間期 (平成17年9月30日現在) | 第104期中間期 (平成16年9月30日現在) | 第104期 (平成17年3月31日現在) | 科 目 | 第105期中間期 (平成17年9月30日現在) | 第104期中間期 (平成16年9月30日現在) | 第104期 (平成17年3月31日現在) |
|---------------|----------------------------|----------------------------|-------------------------|---------------|----------------------------|----------------------------|-------------------------|
| (資産の部) | | | | (負債の部) | | | |
| 流動資産 | 22,672 | 21,493 | 21,115 | 流動負債 | 15,519 | 16,222 | 13,802 |
| 現金・預金 | 7,534 | 6,255 | 6,273 | 短期借入金 | 11,533 | 12,128 | 10,966 |
| 未収運賃 | 817 | 865 | 634 | 未払金 | 1,427 | 1,718 | 1,327 |
| 未収金 | 435 | 492 | 673 | 賞与引当金 | 83 | 96 | 90 |
| たな卸資産 | 12,712 | 12,819 | 12,718 | その他の流動負債 | 2,475 | 2,279 | 1,418 |
| その他の流動資産 | 1,179 | 1,061 | 823 | 固定負債 | 43,702 | 42,832 | 43,799 |
| 貸倒引当金 | △ 8 | △ 0 | △ 8 | 長期借入金 | 39,866 | 38,989 | 40,059 |
| 固定資産 | 53,022 | 53,715 | 52,594 | 預り保証金 | 3,835 | 3,842 | 3,739 |
| 鉄道事業固定資産 | 2,567 | 2,587 | 2,633 | 負債合計 | 59,221 | 59,054 | 57,602 |
| 自動車事業固定資産 | 3,225 | 3,077 | 3,622 | (資本の部) | | | |
| 観光事業固定資産 | 25,424 | 25,661 | 24,988 | 資本金 | 9,126 | 9,126 | 9,126 |
| 土地建物事業固定資産 | 9,689 | 9,491 | 9,364 | 資本剰余金 | 3,398 | 3,398 | 3,398 |
| 各事業関連固定資産 | 2,336 | 2,352 | 2,335 | 利益剰余金 | 4,217 | 3,906 | 3,804 |
| その他の固定資産 | 429 | 441 | 435 | 株式等評価差額金 | 519 | 274 | 445 |
| 建設仮勘定 | 372 | 369 | 286 | 自己株式 | △ 787 | △ 551 | △ 666 |
| 投資その他の資産 | 8,977 | 9,734 | 8,927 | 資本合計 | 16,473 | 16,153 | 16,107 |
| 投資有価証券 | 3,946 | 3,534 | 3,791 | 負債・資本合計 | 75,695 | 75,208 | 73,709 |
| 長期貸付金 | 4,155 | 4,832 | 4,184 | | | | |
| その他の投資等 | 963 | 1,397 | 1,047 | | | | |
| 貸倒引当金 | △ 89 | △ 30 | △ 95 | | | | |
| 資産合計 | 75,695 | 75,208 | 73,709 | | | | |

中間単独損益計算書 (要旨)

単位：百万円

| 科 目 | 第105期中間期 (平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで) | 第104期中間期 (平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで) | 第104期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで) | 科 目 | 第105期中間期 (平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで) | 第104期中間期 (平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで) | 第104期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで) |
|----------------------------|---|---|--|------------------|---|---|--|
| 経常損益の部 (営業損益の部) | | | | (営業外損益の部) | | | |
| 鉄道事業 | | | | 営業外収益 | 124 | 125 | 191 |
| 営業収益 | 658 | 670 | 1,223 | 営業外費用 | 507 | 578 | 1,093 |
| 営業費用 | 557 | 559 | 1,177 | 経常利益 | 1,838 | 1,801 | 2,029 |
| 営業利益 | 100 | 110 | 46 | 特別損益の部 | | | |
| 自動車事業 | | | | 特別利益 | 10 | 0 | 590 |
| 営業収益 | 1,512 | 1,542 | 2,956 | 特別損失 | 184 | 247 | 1,242 |
| 営業費用 | 1,178 | 1,141 | 2,224 | 税引前中間(当期)純利益 | 1,664 | 1,554 | 1,377 |
| 営業利益 | 334 | 401 | 731 | 法人税、住民税及び事業税 | 682 | 631 | 701 |
| 観光事業 | | | | 法人税等調整額 | 1 | 5 | △ 139 |
| 営業収益 | 8,858 | 8,961 | 15,869 | 中間(当期)純利益 | 980 | 918 | 816 |
| 営業費用 | 7,477 | 7,584 | 14,332 | 前期繰越利益 | 1,056 | 808 | 808 |
| 営業利益 | 1,381 | 1,377 | 1,537 | 中間(当期)未処分利益 | 2,037 | 1,726 | 1,624 |
| 土地建物事業 | | | | | | | |
| 営業収益 | 1,082 | 1,173 | 2,162 | | | | |
| 営業費用 | 677 | 810 | 1,546 | | | | |
| 営業利益 | 405 | 363 | 616 | | | | |
| 全事業営業利益 | 2,221 | 2,253 | 2,931 | | | | |

富士急グループ中期経営計画の策定について

当社は、経営理念・経営ビジョンに基づき企業価値の極大化を具現化するため、「富士急グループ中期経営計画」を策定することにより、2008年3月期にはROA（連結総資産経常利益率）5%以上とすることを経営指標目標にいたします。また、中長期経営戦略としては、キャッシュ・フローの増大と資産効率の向上を図るため、経営資源の選択と集中を行なうべく『Value up戦略（事業ポートフォリオの再構築）』と『エリア戦略』を策定いたしました。

エリア戦略におきましては、富士急ハイランドを中心とするハイランドエリア、山中湖畔別荘地を中心とする山中湖エリア及び十里木高原別荘地を中心とするフジヤマリゾートエリアの3つのエリアを中心に展開してまいります。

今後は、中長期経営戦略に基づく独自性（Only 1）を追求したレジャー・サービス事業の成長戦略により、企業価値の極大化を実現し、アメニティ（夢・喜び・快適・やすらぎ・感動）ビジネスのリーディングカンパニーを目指してまいります。

中期経営計画

(1) 目標とする経営指標

ROA（連結総資産経常利益率）

2005年3月期 3.5% ▶▶▶ 2008年3月期 5%以上

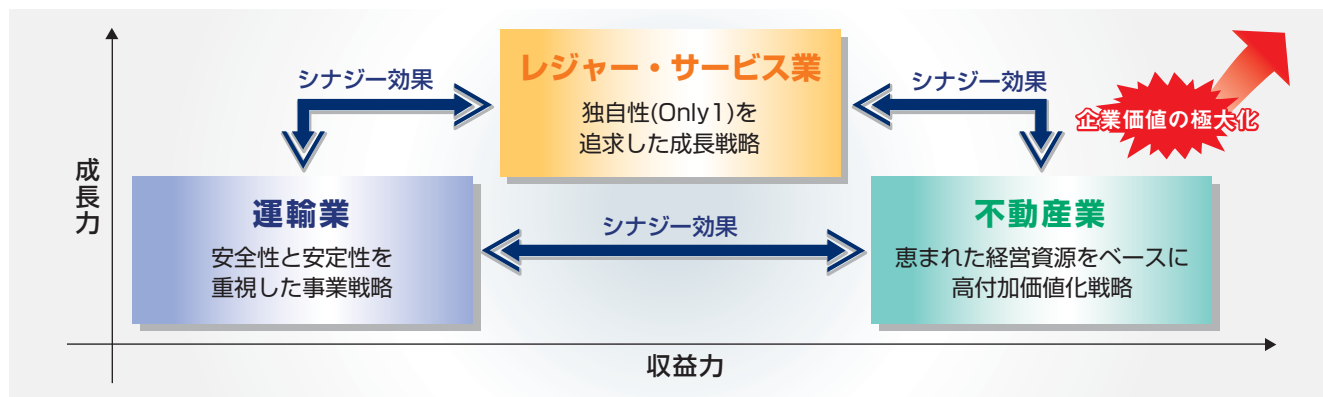
(2) 中期連結業績予想

（単位：億円）

| | 2005年3月期 | 2008年3月期 |
|------|----------|----------|
| 営業収益 | 432 | 495 |
| 営業利益 | 39 | 53 |
| 経常利益 | 30 | 43 |

経営戦略

Value up 戦略（事業ポートフォリオの再構築）



富士急ハイランドに 新アトラクション登場

7月16日、子供たちに大人気のキャラクター「きかんしゃトーマスとなかまたち」のテーマパーク「トーマスランド」に屋内型の「ガタゴトだいぼうけん！」が仲間入り。また、全く新しいタイプのホラーアトラクション「〜ドロ・ナ・キモチ〜棺桶墓場」も登場。

さらに大人から子供まで幅広い層に愛されている不二家のキャラクター「ペコちゃん」をテーマにした「Peko's clock cafe」がオープン。どの施設もお客様に好評です。



©2005 Gullane (Thomas) Limited



©Fujiya Co.,Ltd. 2005

遊園地「ぐりんぱ」に「おもちゃファクトリー・キッズフジQ」誕生

7月16日、遊園地「ぐりんぱ」にオープン。

屋内型施設なのでお天気を気にすることなく子供たちが大好きなおもちゃを自由に見て、触れて、遊べるおもちゃのテーマパークです。



キャンプ場「キャンピカ富士ぐりんぱ」オープン

7月15日、富士山南麓二合目のフジヤマリゾートにオープン。「キャンピカ」は「PICA」の第二ブランドと位置づけ、より手軽に、より楽しいアウトドアをお客様に提供しています。



高速バス新規路線運行開始

富士急山梨バス株式会社では、新たに富士五湖発着の高速バスを4路線開設、運行を開始いたしました。新規路線は「大阪・京都線」「横浜線」「大宮・川越線」「所沢線」で各地域からの富士五湖への利便性が向上いたしました。



会社概況

会社概要 (平成17年9月30日現在)

商号 富士急行株式会社
FUJI KYUKO CO., LTD.

所在地 本社：山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号
東京本社：東京都渋谷区初台一丁目55番7号

設立 大正15（1926）年9月18日

資本金 91億2,634万円

代表者 代表取締役社長 堀内光一郎

従業員数 221名

主要事業 鉄道事業、自動車運送事業、
土地建物の売買・貸借・媒介その他各種不動産事業、
旅館業・遊園地その他各種観光事業等

株式上場 東証1部

売上高 22,213百万円（2005年3月期）
43,250百万円（2005年3月期・連結）

役員 (平成17年9月30日現在)

| | |
|------------------|-------|
| 取締役会長 (代表取締役) | 堀内光雄 |
| 取締役社長 (代表取締役) | 堀内光一郎 |
| 専務取締役 | 帆足雅晴 |
| 専務取締役 | 澤辺正恭 |
| 常務取締役 | 清水守 |
| 常務取締役 | 堀内哲夫 |
| 取締役 | 林有厚 |
| 取締役 | 宇野郁夫 |
| 取締役 | 秋山智史 |
| 取締役 | 藤田讓 |
| 取締役 | 尾崎護 |
| 取締役 | 天野好人 |
| 取締役 | 梶原実 |
| 取締役 | 小泉孝範 |
| 取締役 | 石川二比古 |
| 取締役 | 福重隆一 |
| 常勤監査役 | 矢野勝 |
| 監査役 | 和光泰 |
| 監査役 | 堀田力 |
| 監査役 | 吉岡信一 |
| 監査役 | 岡本和也 |

連結子会社の状況 (平成17年9月30日現在)

■運輸部門

岳南鉄道（株）
富士急行観光（株）
富士急平和観光（株）
富士急山梨バス（株）
富士急シティバス（株）
富士急静岡バス（株）
（株）フジエクスプレス
富士急湘南バス（株）
富士急オートサービス（株）
（株）静岡ホールディング
富士急伊豆タクシー（株）

富士急山梨ハイヤー（株）
（株）富士急マリンリゾート
他5社

■不動産部門

（株）富士急リゾートアメニティ
他1社

■レジャー・サービス部門

（株）富士急ハイランド
（株）フジヤマリゾート
（株）富士宮富士急ホテル
ハイランドリゾート（株）
表富士観光（株）
富士急安達太良観光（株）
富士観光興業（株）
表富士グリーン観光（株）
（株）ピカ
富士急トラベル（株）
他1社

■その他部門

（株）富士急百貨店
富士急建設（株）
（株）富士急情報システム
富士ミネラルウォーター（株）
（株）ネプチューン
他4社

株式情報

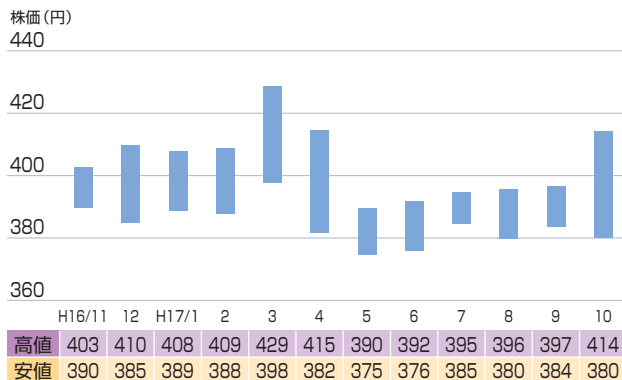
株式の状況 (平成17年9月30日現在)

| | |
|-----------|--------------|
| 発行する株式の総数 | 331,695,000株 |
| 発行済株式総数 | 109,769,477株 |
| 株主数 | 6,068名 |

大株主 (平成17年9月30日現在)

| 株主名 | 持株数 (千株) | 持株比率 (%) |
|---------------------------------------|----------|----------|
| 財団法人堀内浩庵会 | 12,912 | 11.76 |
| 株式会社エフ・ジェイ | 12,708 | 11.58 |
| 日本生命保険相互会社 | 10,709 | 9.76 |
| 富国生命保険相互会社 | 10,709 | 9.76 |
| 朝日生命保険相互会社 | 7,650 | 6.97 |
| 株式会社東京ドーム | 3,052 | 2.78 |
| みずほ信託退職給付信託スルガ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託 | 2,555 | 2.33 |
| 日野自動車株式会社 | 2,006 | 1.83 |
| 富士急行株式会社 (自己株口) | 1,997 | 1.82 |
| 株式会社山梨中央銀行 | 1,973 | 1.80 |

株価の推移



単元未満株式の買取および買増制度のご案内

• 単元未満株式の買取制度

株主様がお持ちになっている単元未満株式を、当社が市場価格にて買取らせて頂く制度です。

• 単元未満株式の買増制度

株主様がお持ちになっている単元未満株式と合わせて1単元 (1,000株) となるような株式を、当社が市場価格にて株主様に売却する制度です。

単元未満株式の買取および買増しのお手続きは当社 の名義書換代理人である三菱UFJ信託銀行株式会社 の本店および全国各支店、野村證券株式会社全国本 支店にて受付けております。また株券保管振替制度 をご利用の株主様は、株券を預託された証券会社へ お申し出ください。

〈単元未満株式の買取および買増制度に関するお問い合わせ先〉

〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 フリーダイヤル 0120-707-696
 0120-86-4490 (24時間自動音声応答)



Q 富士急ハイランド

<http://www.fujikyuu.co.jp/> Tel:0555-23-2111



日本一早く
10.21
OPEN

富士の裾野のスノータウン YETI

滑りやすくなっております。

毎日夜10時までナイター営業

東名横浜町田ICから約1時間

詳しくは、Tel:055-998-0636 www.yeti-resort.com



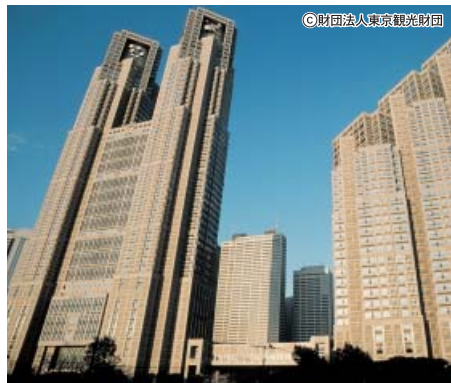
QRコード
で検索
GET



Fujikyū group Highway bus

富士急グループ高速バス

富士急が贈るとっておきのバスの旅



©財団法人東京観光財団

新宿線

■富士五湖発着

河口湖駅・富士急ハイランド…1,700円 岡谷駅…3,060円

予約先 **0555-72-5111**

■諏訪岡谷発着

岡谷駅…3,060円

■伊那発着

駒ヶ根市…3,650円

■甲府発着

甲府駅…1,950円

予約先 **03-5376-2222**

予約先 **055-237-0135**

■<http://www.highwaybus.com>



©財団法人東京観光財団

東京線

■富士五湖・御殿場発着

河口湖駅・富士急ハイランド…1,700円

富士急御殿場車庫…1,500円

予約先 **0555-72-2922**

■富士宮発着/富士宮駅…2,500円

予約先 **0545-71-2660**

■<http://www.j-bus.co.jp>



横浜線

■富士五湖・御殿場発着

河口湖駅・富士急ハイランド…2,000円

富士急御殿場車庫…1,600円

予約先 **0555-72-2922**

■<http://www.j-bus.co.jp>



京都・大阪線

■富士五湖・静岡東部発着

河口湖駅・富士急ハイランド～大阪…8,500円

河口湖駅・富士急ハイランド～京都…8,000円

沼津駅～大阪…7,600円

沼津駅～京都…7,100円

予約先 **0555-72-2922**

■<http://www.j-bus.co.jp>



写真提供:成田国際空港株式会社

成田空港線

■静岡東部発着

新富士駅…5,000円/沼津駅…4,500円

予約先 **0545-71-2660**

■松田・小田原発着

松田…4,000円/小田原…3,800円

予約先 **0465-82-1362**

■<http://www.j-bus.co.jp>



写真提供:中部国際空港株式会社

中部国際空港線

■静岡発着

沼津駅…5,000円/東名静岡…4,000円

予約先 **0120-062-295**

■<http://www.j-bus.co.jp>



富士急行

URL <http://www.fujikyū.co.jp> ☎0555-22-7100

株主優待のご案内

◆優待乗車券

| ご所有株式数 | 乗車券の種類 | 枚数(半期) |
|-----------|-------------------------|--------|
| 1,000株以上 | 電車・バス全線乗車券 | 2枚 |
| 3,000株以上 | 電車・バス全線乗車券 | 3枚 |
| 5,000株以上 | 電車・バス全線乗車券 | 5枚 |
| | 高速バス乗車券 | 1枚 |
| 10,000株以上 | 電車・バス全線乗車券 | 10枚 |
| | 高速バス乗車券 | 2枚 |
| 20,000株以上 | 電車・バス全線乗車券 | 15枚 |
| | 高速バス乗車券 | 4枚 |
| 35,000株以上 | 電車・バス全線優待バス(表示された持参人1名) | 1枚 |
| | 高速バス乗車券 | 4枚 |

※ 高速バスは中央高速バス富士五湖線、甲府線及び東名高速バス東京駅～河口湖線の当社便に限り、ご利用できます。

◆観光施設優待券

| ご所有株式数 | ご優待の内容 | 枚数(半期) |
|-----------|---|--------|
| 1,000株以上 | | 1枚 |
| 3,000株以上 | 遊園地フリーバス(富士急ハイランド・ぐりんぱ) | 2枚 |
| 5,000株以上 | スキー場1日券(スノータウン「Yeti」・あだたら高原スキー場)引換券 | 3枚 |
| 10,000株以上 | | 4枚 |
| 1,000株以上 | 富士急ハイランド入園(1枚につき1名入園、5枚につきフリーバス1枚と引換)ぐりんぱ入園(1枚につき1名入園、5枚につきワンデークーポン1枚と引換)スノータウン「Yeti」(5枚につき1日券1枚と引換)あだたら高原スキー場(5枚につき1日リフト券又はゴンドラ往復券1枚と引換)初島パーク・リゾートランド入園(1枚につき1名入園)天上山公園カチカチ山ロープウェイ(1枚につき1名乗車(往復))河口湖遊覧船(1枚につき1名乗船)山中湖遊覧船(1枚につき1名乗船)本栖湖遊覧船(1枚につき1名乗船)初島航路(1枚につき1名乗船(片道))フジヤマミュージアム入館(1枚につき1名入館) | 5枚 |
| 5,000株以上 | | 10枚 |
| 10,000株以上 | | 15枚 |

◆施設割引券

| ご所有株式数 | ご優待の内容 | 枚数(半期) | |
|------------|-------------------|-------------------------------|----|
| | ホテルハイランドリゾート | 1枚につき1室 室料20%又は | 2枚 |
| | ホテルマウント富士 | 自社企画宿泊商品の10%割引 | 2枚 |
| | あだたら高原富士急ホテル | 3ホテル共通 | |
| | 富士宮富士急ホテル | 1枚につき1室 | 2枚 |
| | 甲府イーストサイドホテル | 室料20%又は自社企画宿泊商品の10%割引 | |
| | 富士急グループホテル 飲食割引券 | レストラン・バー、食料付入浴 10%割引(1枚4名まで) | 5枚 |
| | 富士急グループホテル プール割引券 | ハイランドリゾートマウント富士 20%割引(1枚4名まで) | 2枚 |
| 1,000株以上共通 | 富士ゴルフコース | バッグ料金が2,000円割引(1枚につき4名まで) | 1枚 |
| | ゴルフパークBandi(バンディ) | バッグ料金が2,000円割引(1枚につき4名まで) | 1枚 |
| | 大富士ゴルフ場 | バッグ料金が2,000円割引(1枚につき4名まで) | 1枚 |
| | PICA(富士吉田、富士西湖) | 両施設共通 | |
| | キャンピカ富士ぐりんぱ | 1枚につき宿泊10%割引 | 2枚 |
| | 富士急トラベル | パッケージ旅行料金の5%割引(1枚につき4名まで) | 2枚 |
| | 富士急オートサービス | 車検・点検・整備 工賃10%割引 | 1枚 |
| | 富士ミネラルウォーター | 1枚につき20%割引(1ケース以上) | 1枚 |
| | 富士急ハイランドボウリング場 | 1枚につき4名 1ゲーム350円 | 2枚 |

●株主優待についてのお問い合わせ●

富士急行株式会社 総務部

Tel : 0555-22-7112 E-mail : somubu@fujikyuo.co.jp

各種優待券の発行時期および有効期間

| | 発行時期 | 有効期間 |
|-------------|------|-------------|
| 3月31日現在の株主様 | 5月 | 6月1日～11月30日 |
| 9月30日現在の株主様 | 11月 | 12月1日～5月31日 |

※各種優待券は毎年3月31日および9月30日の最終の株主名簿・実質株主名簿に記載された1,000株以上ご所有の株主様に送付いたします。

株主メモ

決算期 3月31日

定時株主総会 6月

名義書換代理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(電話問合せ)
郵便物送付先 〒171-8508
東京都豊島区西池袋一丁目7番7号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
Tel.0120-707-696 (フリーダイヤル)

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
野村證券株式会社 全国本支店

公告の掲載 東京都において発行する日本経済新聞に掲載

決算公告については、当社ホームページ上に貸借対照表および損益計算書を掲載しております。

(ホームページアドレス)
(<http://www.fujikyuo.co.jp/kessan/index.html>)



富士急行株式会社

本 社 山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号
東京本社 東京都渋谷区初台一丁目55番7号
<http://www.fujikyū.co.jp/>

